

IC カード認証プリントシステム導入業務 及び保守業務に関する仕様書

1 業務名

松阪市 IC カード認証プリントシステム導入業務及び保守業務

2 目的

松阪市情報化推進計画に従い、複合機の適正利用や資料の電子化、ペーパーレス化を推進することから、場所を問わずにコピー、プリント、スキャン、FAX を利用できる環境を構築し利便性を向上するとともに、電子決裁の導入に向けたスキャナ基盤整備のほか、ミスプリントや放置プリントがなくなることによる用紙の削減とセキュリティの確保、さらには印刷ログ管理によるペーパーレス意識の向上等を実現するため、IC カード認証プリントシステムを導入する。

3 調達概要

プリンタ、コピー、スキャン、ファックス利用時の認証を行うために、マルチベンダの複合機及びプリンタに対応した IC カード認証プリントシステム（以下「本システム」という。）を導入する。なお、参考システムは CEC 社製 Smart SESAMI SecurePrint! とする。ただし、指定の期日までに本市に同等品申請を提出し事前承諾を得ることで、これ以外のシステムを導入することも許容する。

4 調達範囲

- (1) IC カード認証プリントシステム
- (2) IC カード認証プリントシステム導入作業
- (3) IC カード認証プリントシステムの利用に必要な端末及びサーバ設定
- (4) 導入後のサポート及び問い合わせ対応

【参考情報】

本システムで管理する複合機の本体及び付随するメーカー純正の IC カード認証装置等は、本市にて別途調達する。なお、利用を想定している端末及び複合機は下記のとおりである。

- ・対象端末台数 1,000 台
- ・複合機台数 10 台

5 設置場所

「6 松阪市 IaaS」を参照

6 松阪市 IaaS

本市は、庁内ネットワークからのみアクセス可能なプライベートクラウド環境（以下「松阪市 IaaS」という。）を保有していることから、本システムに必要なサーバ類は松阪市 IaaS 環境へ構築するものとする（詳細は、別紙「松阪市 IaaS 環境」を参照）。

7 費用に関する考え方

下記①～③の費用の合計に 108 分の 100 を乗じて得た金額（1 円未満の端数は切り捨てる。）を入札価格として提示すること。ただし、入札価格のうち②本システムのハードウェアに要する費用（松阪市 IaaS 環境の利用にかかる費用）は、本市が別途 IaaS サービス提供者へ支払うため契約額には含めないものとする。②本システムのハードウェアに要する費用（松阪市 IaaS 環境の利用にかかる費用）は、別紙「松阪市 IaaS 単価表」を元に算出すること。なお、本契約の導入費用の支払いは検収後に支払うものとし、保守費用の支払いは年度末及び契約満了後に年間費用を支払うものとする。なお、支払金額は、入札書の入札価格内訳の「認証プリントシステム導入費用」及び「認証プリントシステム保守費用」の金額に 100 分の 108 を乗じたそれぞれの額（1 円未満の端数は切り捨てる。）とする。

- ① 本システムの構築に要する費用（ソフトウェア、システム導入作業にかかる費用）
- ② 本システムのハードウェアに要する費用（松阪市 IaaS 環境の利用にかかる費用）
- ③ 本システムの運用保守に要する費用（運用・サポート保守、ライセンス保守費用）

8 契約期間

契約締結の日から平成 27 年 10 月 31 日までに運用可能な状態とすること。

保守・運用期間は平成 27 年 11 月 1 日から平成 30 年 10 月 31 日までとする。また、契約締結後は以下の資料を電子媒体及び紙媒体にて速やかに提出すること。

- ・導入実施計画
- ・構築体制図（作業員名簿を含む）

9 システムの機能要件

(1) 調達システム内訳

- ・マルチメカの複合機対応の IC カード認証プリントシステム： 一式
- ・複合機を管理するために必要なライセンス数： 10 台
- ・IC カード認証プリントシステム導入作業： 一式
- ・IC カード認証プリントシステム操作マニュアル： 一式
- ・クライアントソフトウェア及び共通ドライバのインストール作業： 1,000 台

(2) 調達システム機能要件

① IC カード

本市が別途調達する職員証 IC カード（FeliCa standard 6K）を利用できること。

なお、IC カードのエンコード内容は、本システムの受託者と協議のうえ決定する。

② ソフトウェア

クライアントソフトウェアは以下の OS 及び仮想 OS に対応していること

- ・ Windows 7 Professional/ Enterprise/ Ultimate SP1 32bit/ 64bit
- ・ Windows 8 Professional/ Enterprise 32bit/ 64bit
- ・ Windows 8.1 Professional/ Enterprise 32bit/ 64bit

サーバソフトウェアは以下の OS 及び仮想 OS に対応していること

- ・ Windows Server 2012 の各バージョン

(3) 導入システム構築作業

- ① 本システムの構築
- ② 本システムの動作テスト
- ③ 本システムの導入に必要な端末及びサーバの設定
- ④ 導入成果物の提出 ※詳細は「12 導入成果物」に示す

(4) 本システムの機能詳細

- ① クライアント PC のアプリケーションで特定の複合機及びプリンタを指定せず IC カード認証を使用したプリントが可能であること。また、プリントジョブのログが取得できること。当機能は、特定の複合機メーカーに限定されないこと。
- ② クライアント PC のアプリケーションで複合機及びプリンタメーカー純正のプリンタドライバを使用して IC カード認証を使用したプリントが可能であること。また、プリントジョブのログが取得できること。当機能は、特定の複合機及びプリンタメーカーに限定されないこと。
- ③ IC カード認証を必要とせず出力可能な複合機・プリンタを設定でき、その設定は管理者による一元管理が可能であること。クライアント PC 利用者が無断で設定できないこと。
- ④ 既設の Active Directory（以下「AD」という。）と連携して、個人認証ができること。
 - ・ AD サーバに新規ソフトウェアの導入が必要ないこと。
 - ・ AD のスキーマ拡張が必要ないこと。
 - ・ AD との通信が途絶した場合においても、IC カード認証プリントが可能であること。
- ⑤ 利用者はグループで管理できること。
 - ・ グループは 5 階層以上を管理できること。
 - ・ 1 人の利用者が複数のグループに属せること。
 - ・ 利用者及び利用者グループが印刷可能なプリンタを制限できること。
- ⑥ 複合機及びプリンタでの IC カード認証前に、出力前のプリントジョブをクライアント PC からキャンセルが行えること。また、キャンセルしたログも収集できること。
- ⑦ 一定時間出力されないプリントジョブは自動でキャンセルされる機能を有すること。また、キャンセルされたログも収集できること。
- ⑧ 利用者が無断でプリンタドライバをインストールしてもそのプリンタドライバからプリントができないように制御ができること。
- ⑨ 全サーバ機器がダウンした場合や、クライアント、サーバ間のネットワーク切断時でもプリント出力が可能である機能を有すること。その際、管理者が発行したパスワードを入力する等の方法によりセキュリティを担保できる仕組みがあること。また、サーバ機器回復後にプリントジョブのログの収集が行えること。
- ⑩ サーバ設置場所と拠点間のネットワークトラフィックが導入前に比べ大幅に増加しないこと。
- ⑪ 複合機に接続されたメーカー純正カードリーダー及びプリンタに接続された外付けの IC カードリーダーを使用して IC カード認証プリントができること。
- ⑫ クライアント PC でのプリント指示後、複合機の操作パネルを利用して次の操作が可能であること。操作パネル付きの IC カードリーダーを装着した場合も次の操作が可能であること。
 - ・ プリントジョブを選択して出力すること
 - ・ 不要なプリントジョブを削除すること

- ⑬ 利用者はグループで管理できること。クライアント PC からのプリント指示後、複合機上の操作パネルを利用して印刷設定の変更（部数、割付け、カラーからモノクロへの変更、ホチキス留め、製本）が可能であること。ただし、複合機側がホチキス留め等に対応している場合に限る。
- ⑭ 複合機の使用ログ（プリント、コピー、ファックス、スキャンなど）が一元管理されており、収集した結果を CSV ファイルに出力可能であること。また、利用枚数の調査を行うために、職員別、機器別、部門別に月間印刷数を集計する仕組みを提供すること。
- ⑮ プリンタのプリントログを収集し、一元管理が可能であること。
- ⑯ 共用 PC 端末から不特定多数の利用者が印刷出力を行う場合でも、個人認証が可能であること。
- ⑰ シンククライアント環境下での認証プリント出力が可能であること。
 - ・ citrix xenapp 等に対応していること。
- ⑱ 今後、IC カード認証プリントの対象範囲にプリンタを含めた場合でも、同システムで IC カード認証プリントの管理が可能であること。
- ⑲ 各ログファイルについては、365 日間保管すること。
- ⑳ IC カード認証されたユーザ個々のスキャン保存先、操作方法等の設定を統一管理できること。

10 保守対応

- ① システム構築後、3 か月のヘルプデスク対応を実施すること。
- ② システム構築後、3 年間の運用・保守・障害対応を実施すること。
- ③ 電話・メールによる操作指導やシステムの相談が行えること。
 なお、対応時間は原則として平日 8:30～17:15 までとする。
 ※土・日・祝日及び年末年始（12/29 ～ 1/3）を除く。
- ④ オンサイト対応が必要な場合は、問い合わせ後約 3 時間以内に現地対応を行うこと。
- ⑤ システムのバージョンアップについても本契約に含むものとし、追加費用は発生しないこと。

11 設置・設定作業

(1) サーバインストール作業

- ① 本システムの稼働に必要なとなるサーバ仮想マシンは、松阪市 IaaS に構築を行うこと。
- ② サーバは 2 台以内とし冗長構成は不要とするが、障害時も利用できる仕組みを用意すること。
- ③ 複合機で IC カード認証プリントを行うにあたって必要となる設定を行うこと。
- ④ 複合機の使用ログの収集を行うにあたって必要となる設定を行うこと。
- ⑤ 本市と協議のうえ、ドライブ及びフォルダ構成を設定し、必要に応じて、セキュリティ権限を付与すること。
- ⑥ DB（Oracle、SQL Server など）を導入する場合は、コピーコマンドでコピーできるファイル形式へ自動バックアップ設定を行うこと。
- ⑦ システムの動作に必要なネットワークポートについては、本市と協議のうえ必要最低限のポートを解放する。
- ⑧ サーバの設定に必要なとなるプリンタ機器等の情報（設置場所、IP アドレス等）については、本市より別途一覧表を提供する。
- ⑨ システム導入に伴い、ドメインサーバへの設定の追加が必要な場合は、サーバ管理者と協議のうえ、実施可否を決定する。

- ⑩ スキャン時に、IC カード認証したユーザに紐づいた共有サーバ上のフォルダへ保存する設定作業を行うこと。

(2) クライアントインストール作業

本システムを使用するために必要なクライアントソフトウェアのインストール作業を実施すること。

- ① 設定対象端末の情報（設置場所、IP アドレス等）については、本市より別途一覧表を提供する。
- ② システムの動作に必要なネットワークポートについては、本市と協議のうえ必要最低限のポートを開放する。

(3) デジタル複合機作業（10 台）

別途調達する複合機が本システムの認証を利用するために必要な設定情報等を提供すること。

(4) 松阪市 IaaS について

- ① 必要なネットワークポートの開放は、本市と協議のうえ必要最低限のものとすること。
- ② ウィルス対策ソフトは、本市の指定する統合ウィルス対策サーバを利用することも可とする。
- ③ 本システムで使用する仮想マシンの割り当てリソースは、vCPU 2 個以内、メモリ 8GB 以内、HDD200GB 以内で構築すること。
- ④ 松阪市 IaaS でバックアップを毎日実施しているが、本システムの特性により不十分（不都合）と判断できる場合は、本システムの調達範囲で別途個別バックアップを準備すること。

12 導入成果物

以下の資料をシステム構築期限までに電子媒体にて提出すること。

- ① 本システムのソフトウェア式
- ② 本システムのマニュアル式
- ③ 本システムの問い合わせ窓口情報
- ④ 本システムの設定書
- ⑤ 導入テスト仕様書兼導入テスト報告書

13 操作研修

システム管理者向けに以下の研修を実施すること。

- ・各種設定項目の登録変更方法
- ・本システムを使用した複合機の基本操作

14 機密の保持

・本業務の受託業者はプライバシーマーク（JIS Q 15001）、又は ISMS（ISO/IEC27001）の認定を受けていること。

・契約の履行上知り得た本市の技術又は事業運営に関する一切の情報（以下「機密情報」という。）は目的以外に使用してはならず、最大限の注意をもって秘密を保持すること。

・本市の許可なく第三者に情報を漏洩又は開示しないこと。

・受託業者は自社従業員のうち当該業務に従事する従業員にのみ機密情報を開示するものとし、当該

業務に関与しない従業員には、いかなる手段においても一切機密情報を開示してはならない。

- ・本契約期間の満了後は、当該業務に関する情報を返却又は確実に廃棄すること。

15 その他

- ・本業務の履行に際して疑義が生じた場合は、双方で協議を行い必要な措置を講じるものとする。
- ・本書に明示されていない事項であっても、委託者と協議のうえ、その履行上必要な事項についてはすべて受託者が責任を持って対応すること。
- ・サーバスペックの不足や通信回線の帯域不足等の理由で本システムの利用に支障が出る場合については、受託者の費用負担において松阪市 IaaS のリソースの増強を行うこと。ただし、本システムの管理対象とする複合機・プリンタの台数が増加する場合はこの限りではない。
- ・本システムの構築から本稼動までの期間については、稼動確認やテストでの利用があるため本業務の範囲内とし、この期間内の松阪市 IaaS の使用料については、受託者が松阪市 IaaS 受託業者へ支払うものとする。